

**END
POLIO
NOW**



ポリオ根絶にむけて

国際ロータリー第2790地区
ロータリーポリオプラス委員長 畠山 泰哲
クラブリーダーシップラーニングセミナー

自己紹介

- ▶ 氏名 : 畠山 泰哲 1971年3月26日生まれ 55歳
- ▶ 家族 : 妻・長女・長男・次女・孫2人(小6・小4)
- ▶ 入会年数 : 2008年4月1日入会 18年
- ▶ 所属クラブ : 白井ロータリークラブ
- ▶ 職業分類 : 鉄鋼加工業 (鉄鋼屋の親父)
- ▶ 趣味 : 釣り・料理

.....

▶ 地区財団委員歴 : 次年度で4年目

- ▶ 2023-24 (鵜沢G) 年度 ポリオプラス委員会 委員
- ▶ 2024-25 (寒郡G) 年度 ポリオプラス委員会 委員
- ▶ 2025-26 (時田G) 年度 ポリオプラス委員会 副委員長
- ▶ 2026-27 (森島G) 年度 ポリオプラス委員会 委員長



END
POLIO
NOW

ポリオプラス委員会メンバー

畠山 泰哲 委員長 白井RC

河内 悟 副委員長（次年度委員長） 松戸中央RC

小椋 伸也 委員（25～26委員長） 松戸北RC

松永 達人 委員（21～22 22～23委員長） 富里RC

桑野 博之 委員（24～25委員長） 成田RC

正林 宏平 委員 茂原中央RC

1年間よろしくお願いいたします。

ポリオプラス委員会の責務

- 1 : ポリオ啓蒙活動
- 2 : ポリオプラス基金への寄付を奨励する
- 3 : ポリオプラス・ソサエティへの加入を奨励する
- 4 : ロータリーカードのご案内・推奨
- 5 : 2790地区ポリオデー根絶イベントの企画

2790地区年間活動計画

通年

1. 各クラブへのポリオの卓話
2. クラブ・グループでのポリオイベントへの協力
3. PPS会員の増強
4. ロータリーカードの推奨

7月11日（土）PPSの集いIN成田菊屋上町 50名先着順

10月25日（日）地区 ポリオデーイベント

場所：勝浦ブルーベリーヒルズ敷地内

ポリオとは？


▶ポリオ（急性灰白髄炎）（脊髄性小児まひ）

- * 特に5歳以下の子供の罹患率が90%以上と感染しやすい伝染病。
- * 神経を侵して永久的な筋力低下やまひを引き起こす。時として命さえも奪います。
- * ポリオウイルスによって、人から人へ伝染する病気、感染したら治療法はありません。
ワクチン投与によって予防は可能。
- * 日本では1980年を最後に発症は確認されていないが、
世界中での感染を根絶しない限り、今後も発症のリスクはある。

**ポリオの発症が世界のどこかで起きている限り
感染の危険は世界中の子供たちに及ぶことになります**

ポリオ VS Rotary

- 1979年前半 1978年 – 79年度RI会長であったクレム・レヌーフ氏が3H補助金を使用し、何か疾病を根絶できないか検討
同年11月RI理事会は3Hプログラムの主要目標としてポリオ根絶を掲げることを同意
- フィリピンで、ボランティアによる児童への経口ポリオワクチン投与が行われる。
ジェームスL. ボーマーRI会長が最初のワクチンを子どもに投与し、フィリピンのポリオ予防接種活動を開始。これが、ロータリーの「3H補助金」プロジェクトの第1号
- ロータリーとフィリピン保健省が、76万米ドルをかけて数年間で 600万人の子どもにポリオ予防接種を行うという国際ロータリーとフィリピン政府の合意書に署名。
- 「ポリオのない世界」をつくることがロータリーの最優先事項となる。
- ロータリーは1985年にポリオプラス・キャンペーンを発足させ、
1988年にはGPEIの発足メンバーとなりました。

A person is walking on a dirt street, using two long, thin walking sticks for support. They are wearing a light blue, short-sleeved button-down shirt and light blue trousers. The person is barefoot. In the background, there is a red car and a tree trunk. The ground is dry and dusty.

アメリカとカナダもそうでした

世界ポリオ根絶推進計画（GPEI）

各国政府が主導

1988年
国際ロータリー
（RI）

世界保健機構
（WHO）

国連児童基金
（UNICEF）

米国疾患対策センター
（CDC）

2009年
ビル&メリンダ・
ゲイツ財団
（BMGF）

2019年
ワクチンと予防接種
のための世界同盟
（GAVI）

END
POLIO
NOW



ポリオ根絶を目指す理由

1.生活の向上

ポリオ根絶活動のおかげで、身体麻痺とならずにすんだ人の数は 2,000万人、命を落とすことのなかった人の数は 150万人に上ると言われています。

2.未来への投資

ポリオが根絶されなければ、今後10年間に毎年20万人の子どもが身体麻痺になる可能性があります。ポリオの根絶は全ての子どもの為のより健康な世界をつくることに繋がります。

3.子供の健康を向上

ポリオ根絶のサーベイランス（監視）や予防接種活動では、ビタミン欠乏や、はしかといった他の健康問題の検査も行われるため、いち早く対応できるようになります。

4.医療費の削減

世界的なポリオ根絶活動により、1988年以来、270 億ドル以上の医療費が節約され、2050年までにさらに140億ドルを節約できるとされています。

5.ロータリーが歴史を作る

ポリオが世界から根絶されれば、天然痘に続いて2番目に根絶される疾病となり、公共保健分野における偉大な功績の一つとなることができます。

ロータリーにとってポリオとは？

ロータリー財団管理委員会とR I 理事会は

「ポリオのない世界」 と認定されるまで

国際ロータリーおよびロータリー財団にとって

ポリオ根絶は最も重要な目標であり、そうあり続けなければならない
(ロータリー財団章典12.010.)

ポリオプラスプログラムが成功裏に完了するまで、いかなる他のプロジェクトも検討されない (2017年1月理事会会合、決定87号)

ロータリーの最優先事項

世界の野生型ポリオウイルスによる症例数

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

| | | 2026年 1月1日～ 3月23日 | 2025 | 2024 | 2023 | 2022 |
|------|---------|-------------------------|------|------|------|------|
| 常在国 | パキスタン | 1 | 31 | 74 | 6 | 20 |
| | アフガニスタン | 0 | 21 | 25 | 6 | 2 |
| 非常在国 | モザンビーク | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| 世界合計 | | 1 | 52 | 99 | 12 | 30 |

ポリオは依然として

「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態 (PHEIC)」に
指定されています。

ポリオプラスとは？

- ▶ ロータリーは1985年に「ポリオ・プラス」の取り組みを開始。
- ▶ 「プラス」という言葉は5種類の感染症【はしか（麻疹）・結核・ジフテリア・百日咳・破傷風】の予防接種にも広められるだろうという意味。
- ▶ 「プラス」の概念は当初の予想を超えて様々な恩恵をもたらした。
- ▶ ワクチンを運搬、保存するための新しい物流方法（コールドチェーン）により、発展途上地域での感染症との闘いが以前より容易となった。
- ▶ 他のウイルスの感染状況も監視。
- ▶ ロータリーが立ち上げに寄与した世界ポリオ根絶推進計画（GPEI）は、官民パートナーシップの手本となった。
- ▶ 「プラス」は他の感染症との闘いを支えていくインフラと協力体勢という社会資産をも意味するようになった。

ポリオプラス基金の用途

- ▶ ワクチンの代金 20%程度
- ▶ 現地ポリオワーカーの教育、人件費
- ▶ 監視活動、専門家による調査、ワクチン管理等
- ▶ WHO・UNICEF他へ補助金として提供
- ▶ パキスタンへは累計約4億3千万ドル/約645億円を拠出
- ▶ これまでポリオ根絶へ投じた費用は26億ドル以上(パートナー含む)

1人あたり 30ドルの目標

ポリオプラス・ソサエティのご案内（1）

- ▶ 『ポリオ根絶』まであと少しという状況になってきましたが、根絶を迎えるまでは今までと同様に毎年多額の資金が必要。
- ▶ 現状の不安定な政治環境、気候変動によると思われる災害もあり根絶活動の遂行に予断を許さない状況。
- ▶ ポリオ根絶までの活動資金の安定と増加にご協力いただくために、世界のロータリー会員の皆様にソサエティを紹介し、多くの方にご参加をお願いします。

ポリオプラス・ソサエティのご案内（2）

- ▶ 『ポリオプラス・ソサエティ:The PolioPlus Society（PPS）』
このプログラムは、ロータリー財団『ポリオプラスプログラム』へ
毎年100ドルの寄付をお約束頂けるロータリー会員に登録して
いただき、登録証とソサエティメンバーのピンバッジを受け取っ
て頂くいわばステータスです。
- ▶ ゲイツ財団より2倍の上乗せがございます。
- ▶ ロータリー財団の寄付実績に反映されPHF認証レベルの対象と
なり、クラブ・地区の実績にも反映されます。
- ▶ 2790地区では、ご案内以降158名のロータリアンが登録。

ポリオプラス・ソサエティ登録証 (サンプル)

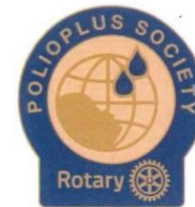
Rotary International District 2790

Proudly recognizes

YASUNORI HATAKEYAMA



*As a member of the
PolioPlus Society*



*Your commitment and generous annual donation to
PolioPlus provides tangible assistance for the global
eradication of polio and advances world understanding,
goodwill and peace.*

HIROYUKI KUWANO

District 2790 PolioPlus Chair

SETSUKO URUSHIBARA

District 2790 Rotary Foundation Chair

SHIGEKI KANGORI

Governor, Rotary District 2790

Rotary 
District 2790

2024/8/19

Date

ロータリーカード

インターナショナルマスターカード
(オリコカード)

2024年度 — 25年度実績

ロータリーカード利用額総計
69,552,219円

| | 個人用 | | 法人用 <small>クラブ・地区単位での発行はできません</small> |
|----------------------------|---|---|---|
| 種類 |  スタンダード |  ゴールド |  法人 |
| 年会費 | 無料 | 11,000円 (税込) | カード1枚につき 3,300円 (税込) |
| 発行枚数 | 最大2枚 ※本人と配偶者 | | 最大20枚 ※メンバー会員含む |
| Web申込 | WEB入会 はこちら | WEB入会 はこちら | WEB入会 はこちら |
| カード特典① 自動的にポリオ撲滅の為の資金へ | | | |
| カードショッピングでの寄付 | ご利用金額の0.3% | | ご利用金額の0.5% |
| 年会費での寄付 | | 3,000円 | 1,500円 |
| その他 | 個人・クラブの年次基金には加算されません | | |
| カード特典② ロータリー財団への寄付(ポイント交換) | | | |
| ポイント交換 | 1,000スマイル → 5,000円 | | 対象外 (ポイント制度無) |
| | 個人・クラブの年次基金として加算されます | | |

ロータリーカード

ロータリーダイナースクラブカード

クラブ・地区・地区委員会の法人カード(年会費無料)

個人カード年会費24,200円

ご利用額の0.3%が活動資金に

2024年度 — 25年度実績

ロータリーカード利用額総計

89,490,229円

ロータリーダイナースクラブ
コーポレートカード
お申し込み

Eメールで入会申込書をご請求ください。

クラブカード

ご入会資格

会長、副会長、幹事、会計、理事、会長エレクト、次期副会長、次期幹事、次期会計、次期理事の方が対象



入会申込書を請求する 

地区ポリオ根絶イベント実施のコンセプト

- 01 ポリオ根絶活動及びロータリー活動を一般の方々への認知
- 02 地区内クラブへのポリオ根絶活動の関心促進
- 03 次世代へポリオ根絶の必要性を訴える
- 04 単独ではポリオデーイベント実施が困難な地区内クラブが参加することによるクラブ活性化
- 05 地区内ロータリアンの共同奉仕活動による地区内連帯感、および各ロータリアンのロータリーモーメントに繋げる
- 06 奉仕活動のアピールポイントとして新規会員増強に役立てる



ポリオ根絶に取り組んできたロータリーにとって根絶は世界との約束、
子供たちとの約束です。

歴史と共に築いてきた根絶への道のりを絶やすことなく私たちが約束を
果たしましょう。



近い将来
ポリオ根絶を
祝えることを
信じています。